令和３年度　松之山商工会経営発達支援事業評価票

A	目標を達成することができた（80%～100%）
B	目標を概ね達成することができた（60%～79%）
C	目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～59%）
D	目標をほとんど達成することができなかった（0%～29%）

Ⅰ．経営発達支援事業の内容

１．地域の経済動向調査に関すること【指針③】

（１）地域内事業者を対象に景況調査兼実態調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
景況調査及び実態調査回数	平成 28 年度から継続実施している。今年度から十日町商工会議所も加わりより充実した調査となったが、回答率が減少傾向にあり、今後の回答率を上げることを考えながら継続したい。	B	A
景況調査公開回数	当会ホームページにて情報公開したほか、調査対象会員及び行政に情報提供できた。今後も継続して情報提供したい。	A	A
行政との懇談会	回数も１回で目標達成できなかった。しかし、懇談内容は地域経済動向によるものとなっていないので、今後は懇談内容をもう少し事業に合せたものにしたい。	D	C

２．経営状況の分析に関すること【指針①】

（１）経年経営分析の実施

（２）簡易財務分析の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
分析のための巡回訪問件数	巡回回数は目標数を達成できていない。また、目的内容が事業に合っていると言えない。また、職員全体の資質向上を要する必要がある。（経営指導員だけでは限界がある）	D	C
経年経営分析件数	分析の件数は目標数の 50%であった。（6 件／目標：12 件）目標設定した本来の事業目的は「分析結果を基に事業者自ら計画立案する」こととでもあり、目的通りの分析は２件であった。	C	C
簡易財務分析件数	確定申告時での 3 期比較分析は目標の 78%であった。（25 件/目標：32 件）受託件数が減少傾向にあり、目標設定時との差が出てきている。事業計画では「月次処理毎に 3 期比較試算表分析を提供する」ものとなっているため、評価は低い。	C	B

３．事業計画策定支援に関すること【指針②】

（１）支援対象事業者の掘り起こし

（２）事業計画策定支援

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
事業計画策定支援数	計画策定件数は目標達成できたが、事業者自ら策定したものでなく、評価は低い。（4 件/目標：4 件） 今後は、事業者自ら計画策定する内容を考えて行きたい。	B	A
持続化補助金申請数	今年度は申請する事業所は無かった。 新型コロナ対策での補助金が充実してきていることもあり、できるだけ事業者に有利な補助金活用を進めたい。	D	C

４．事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

（１）伴走型のフォローアップの実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
広報等による周知	広報による情報発信は十分できたと思うが、実際に活用した事業所は少なかった。	B	A
フォローアップ実施事業者数	フォローアップの件数だけは目標は達成できているが、全ての事業所へのきめ細やかな支援ができたとは言い難い。	C	B
フォローアップに係る巡回件数	巡回回数は例年になく少ない回数となっている。また、全ての巡回がフォローアップであると言えないことから評価は低い。 職員全体の事業関与の必要性もうまく伝わっておらず、今後は職員の資質向上を合わせ、強化しなければならない。	D	C

５．需要動向調査に関すること【指針③】

（１）地域外消費者向け需要動向調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供事業者数	今年度は評価できない。	D	D
情報提供回　　数	今年度は評価できない。	D	D

（２）住民向け需要動向調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供 事業者数	今年度も 2 種類の調査報告書を全会員に提供予定である。ただし、提供した資料を活用する事業者があるかわからない。 今後は、巡回等で活用方法を周知したい	C	C
情報提供 回数	2 回（2 種類）の情報提供予定。	B	A

（３）外部統計資料からの情報入手

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供 事業者数	情報提供回数は 1 回で目標達成とならなかった。 外部データを活用したい事業所が増えるような取り組みを今後は考えなければならない。	C	D

６．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
グーペ登録数	Goope の新規登録は 3 件あったが、目標数には達していない。 操作講習会も 2 年連続で開催できず、今後は他商工会との共催も含めて実施を考えたい。	C	C
ミラサポ登録数 （中小企業 119）	今年度も新規登録件数は 0 件だった。 県連の専門家派遣事業も充実してきており、どの制度を活用するか事業者の支援要望を見定めて活用したい。	D	D
展示会出展者数	1 事業所の出展しかなかった。 新商品開発も含め、事業者への支援を実施したい。	D	C

Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
観光情報 HP 更新回数	更新ができたとは言えず、評価は低い。 職員の操作指導を行い、強化しなければならない項目でもある。	D	D
イベント情報 HP 更新	上記と同内容	D	D
行政担当課 との会議	回数のみは目標達成となっているが、内容を地域活性化につながるものにしたい。	C	B

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

１．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
近隣商工会との情報交換	回数は目標達成できた。 今後は、情報交換内容を精査しながら実施したい。	B	A
県連主催の研修会参加	今年度は新型コロナウイルス感染症の関係にてほとんど開催されず、未達成となった。	D	評価できず
マル経協議会への参加	今年度は開催無し	D	評価できず

２．経営指導員等の資質向上等に関すること

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
資質向上のための取組	今年度は新型コロナウイルス感染症の関係にて外部での研修会はほとんど開催されず、職員各自で自主的に能力アップを図らなければ目標達成に至らない。 特に実施した職員も無く評価できない。	D	B